

| 場面                           | 行動目標<br>SBOs                   | 学習方法(方略)                 |                       |  | 評価方法           |         |                        |                                      |
|------------------------------|--------------------------------|--------------------------|-----------------------|--|----------------|---------|------------------------|--------------------------------------|
|                              |                                | 指導者、補助者                  | 研修医への学習内容             | 指導医としての指導内容  | 注意点            | 学習媒体    | いつ                     | どのように評価する                            |
| 所内オリエンテーション                  | ①精神障害者の保健福祉医療における保健師の役割を理解する   | 指導医、実務担当者                | 講義に参加                 | 各種法律・通知等を理解させる<br>保健師の法的位置づけ<br>法律成立の背景等           | 印刷物、黒板、スライド    | 2日目の始め  | 口頭試験                   | チェックリスト評価(当日)<br>研修医が口頭で意見           |
| 管内関係施設<br>所内会議室<br>又は現場(家庭等) | ②地域支援体制と利用できる社会資源を知る           | 実務担当者、各施設担当者、家族、医療機関のPSW | 関係各機関の見学(体験)          | 各機関の役割を理解させる                                       | 印刷物(施設紹介等)、ビデオ | 当日研修終了時 | 口頭試験                   | チェックリスト評価(当日)<br>研修医が口頭で意見           |
|                              | ④共感的な態度を取ることができる               | 実務担当者、各施設担当者、家族、医療機関のPSW | 講義に参加                 | 共感的態度の意義の確認(強調)                                    | 印刷物、ビデオ        | 当日研修終了時 | 観察記録                   | チェックリスト評価(当日)<br>最終日の反省会におけるディスカッション |
| 模擬実習                         | ⑤意思・人権・プライバシー等へ配慮した態度を取ることができる |                          | 事例により現場見学             | 疾病の理解を深めさせる<br>意思・人権・プライバシー等に配慮し、ケースの理解と対応方法を修得させる |                |         |                        |                                      |
|                              | ④共感的な態度を取ることができる               | 実務担当者                    | ロールプレイに参加             | 共感的態度の意義の確認(強調)                                    | ケース、模擬患者       | 当日研修終了時 | シミュレーションテスト            | チェックリスト評価(当日)<br>最終日の反省会におけるディスカッション |
| ケースカンファレンス                   | ⑥精神相談に対応することができる               |                          |                       | 疾病の理解を深めさせる<br>相談に応じることができる技術を修得させる<br>社会資源を活用させる  |                |         |                        |                                      |
|                              | ⑤意思・人権・プライバシー等へ配慮した態度を取ることができる | 実務担当者、各施設担当者、家族、医療機関のPSW | ケースカンファレンスに参加         | 意思・人権・プライバシー等に配慮し、ケースを理解し問題点を指摘させる                 | 印刷物、ビデオ        | 当日研修終了時 | 観察記録                   | チェックリスト評価(当日)<br>最終日の反省会におけるディスカッション |
| 作業所、家庭等                      | ②地域支援体制と利用できる社会資源を知る           | 実務担当者、各施設担当者、家族          | 作業所等の見学(体験)           | 各機関の役割を理解させる                                       | 印刷物(施設紹介等)、ビデオ | 4日目の始め  | レポート                   | チェックリスト評価(当日)<br>研修医が口頭で意見           |
|                              | ④共感的な態度を取ることができる               |                          |                       | 共感的態度の意義の確認(強調)                                    |                |         |                        |                                      |
| 窓口(保健所、市町村等)または所内相談室         | ⑥精神相談に対応することができる               | 実務担当者、市町村担当者             | 相談業務に同席またはロールプレイへ参加   | 相談に応じることができ技術を修得させる<br>個人情報保護に留意する<br>ファイナンスール配慮9  | ケースあるいは模擬患者    | 当日研修終了時 | シミュレーションテスト<br>相談記録の提出 | チェックリスト評価(当日)<br>最終日の反省会におけるディスカッション |
|                              | ③精神保健における緊急時の対応の仕組みを知る         | 所長、実務担当者                 | 実際の事例の経験を優先またはケーススタディ | 緊急時の保健師の対応(移送を含む)を理解させる<br>関係機関の役割を理解させる           | 模擬患者、印刷物       | 当日研修終了時 | 口頭試験<br>レポート           | チェックリスト評価(当日)<br>当日或いは最終日のディスカッション   |
| 所内、関係機関、行事開催場所               | ⑦ディケア、家族会等の行事へ参加ができる           | 実務担当者、各施設担当者、ボランティア等     | 行事に参加                 | 積極的な関わりを指導する                                       | 行事に関連するもの      | 当日研修終了時 | 観察記録                   | チェックリスト評価(当日)<br>最終日の反省会におけるディスカッション |

## 精神障害者への対応

### Cグループ

### ケース(聞き取り)

- ・ 3月27日 保健所に家族(母親)が来所し、次の様な相談がありました。
- ・ 26歳の息子に暴力をふるわれて困っているとのこと

Q1 保健所研修医師として相談を受けるにあたってどのような点に配慮しますか？

### ポイント

- ・ プライバシーに配慮した場所の確保
- ・ 共感的な態度で傾聴する
- ・ 緊張を和らげる
- ・ 相談ニーズを確認する

### 経過1

静かな個室で相談することになりました。

Q2 あなたは保健所研修医師として何を聞きますか？

### ポイント

- ・ 経過
- ・ 既往歴、家族関係、生活歴(学歴)、近所との関係
- ・ 診断につながる情報(精神症状等の有無)
- ・ 性格等

### ポイント

- 【事前】
- ・ 病院への連絡と情報の確認(治療中断の有無等)
- 【訪問時】
- ・ 複数対応
- ・ 人権への配慮
- ・ 経過の確認(服薬状況等)
- ・ 自傷他害の有無
- ・ 調査の結果警察の臨場要請も考慮

### 経過3

- ・ 訪問した結果、家の中は乱雑になっていたが、人への被害はなかった。
- ・ 家族は入院を希望しています。

Q4 あなたは対応するとき、どのようなことをポイントとしますか？

### ポイント

- ・ 本人の意思
- ・ 主治医の意見の確認
- ・ 精神科への入院形態
- ・ 法的根拠
- ・ 医療機関への受診手段

### 経過2

- ・ 精神疾患を疑い 診断治療をすめたところ、医療機関を受診し 統合失調症の診断がつき治療が開始された。
- ・ ところが、9月16日 再び母親より電話相談があった。ハットをもって家の中で暴れているとのこと。
- ・ 所内で検討した結果訪問することしました。

Q3 訪問にあたって必要な情報、準備、注意すべき点は何か？

<Dグループ>

テーマ

老人保健事業・介護保険

達成される到達目標

保健所の役割(地域保健・健康増進への理解を含む)について理解し、実践する。  
 QOL(Quality of Life)を考慮にいれた総合的な管理計画(リハビリテーション、社会復帰、在宅医療、介護を含む)へ参画する。

一般目標・GIO→

住民の健康寿命の延伸およびQOLの向上のために、地域の老人保健事業・介護保険を活用できる。

行動目標・SBOs→

- ① 地域における老人保健事業を具体的に説明できる。
- ② 介護保険の制度・介護予防を詳説できる。
- ③ 地域の社会資源を述べる事ができる。
- ④ 他職種と連携・コミュニケーションができる。
- ⑤ 相談者・家族の身体・心理・社会的側面に配慮できる。
- ⑥ 自ら正しい生活習慣を実践できるよう努める。
- ⑦ 生活習慣病について保健指導(個別・集団)ができる。
- ⑧ ケースに対応した介護保険の制度を紹介できる。
- ⑨ 地域の社会資源を活用できる。

知識  
 知識  
 態度・習慣  
 態度・習慣  
 技能  
 技能

| 行動目標<br>SBOs              | どのような基準で達成とするか  |
|---------------------------|---|
| ① 地域における老人保健事業を具体的に説明できる。 | ・老人保健事業の種類が言える。<br>・生活習慣病の保健指導ができる。                                 |
| ② 介護保険の制度・介護予防を詳説できる。     | ・介護サービスの種類が言える。<br>・要介護度を説明できる。<br>・主治医の意見書を記入できる。<br>・地域の社会資源が言える。 |

| 週間スケジュール | 〇月〇日<br>月             | 〇月〇日<br>火      | 〇月〇日<br>水         | 〇月〇日<br>木           | 〇月〇日<br>金 |
|----------|-----------------------|----------------|-------------------|---------------------|-----------|
| 午前       | オリエンテーション<br>講義       | 模擬演習<br>(介護保険) | 施設見学<br>(老人保健施設等) | 市町村保健センター<br>(健診)   | 保健所内各事業   |
| 午後       | 市町村保健センター<br>(介護予防事業) | 家庭訪問           | スタッフミーティング        | 市町村保健センター<br>(健康教育) | まとめ       |

<Dグループ>

| 場面          | 行動目標<br>SBOs | 学習方法(方陸)       |   |                        |                 | 評価方法  |   |  |
|-------------|--------------|----------------|---|------------------------|-----------------|---|---|--|
|             |              | 指導者、補助者<br>指導医 | 研修医への学習内容<br>・行政システム(法令・制度・組織・地域の社会資源)<br>・保健所業務について<br>・制度の詳細な解説 | 指導医としての指導内容<br>同左      | 注意点             | 学習媒体<br>・既存の行政資料<br>・既存の行政資料  | いつ<br>・研修の最後                              | どのように評価するか<br>総括で評価<br>指導医へのフィードバック<br>1日の最後にアンケート |
| オリエンテーション   | ①②③④⑥        | 担当者            |   |                        |                 |   |   |  |
| 講義          | ①②           |                |   |                        |                 |   |   |  |
| 模擬演習        | ⑤⑥           | ケアマネ           | ・ケアプラン作成  | ・意見書の作成                | ・ケアプラン書<br>・申請書 | ・学習直後   | ・シミュレーション                                 |  |
| 市町村保健センター   | ①②⑥⑦         | 担当責任者          | ・事業に参加  | ・健診結果の事後指導<br>・健康教育の技法 | ・スライド等<br>・教科書  | <介護予防事業><br>・実施中<br>・実施直後<br><健診事後指導><br>・実施中<br><健康教育><br>・実施前<br>・実施中 | ・観察記録<br>・口頭試験<br>・実施試験<br>・予行演習<br>・実地試験 |  |
| 保健所内<br>各事業 | ①            | 指導医            | ・老人保健事業の評価  | ・老人保健事業の評価の<br>意義      | ・統計資料           | ・学習後  | ・レポート                                     |  |
| 家庭訪問        | ①②④⑤         | 保健師            | ・家庭訪問の意義<br>・ケース・家族とのコミュニケーション                                    | ・生活背景を知る               | ・ケース・家族         | ・学習前<br>・学習中<br>・学習後  | ・ケースの状況の口答試験<br>・観察記録<br>・ケースレポート         |  |
| 施設見学        | ③ ⑨          | 施設担当者          | ・社会資源の把握  | ・他機関との連携               | ・施設             | ・学習前<br>・学習中<br>・学習後  | ・口頭試験<br>・観察記録<br>・レポート                   |  |
| スタッフ・ミーティング | ④⑧⑨          | 指導医・関係職種       | ・他職種への理解  | ・協働体制                  | ・スタッフ           | ・学習中  | ・観察記録                                     |  |

## 老人保健事業の活用

Dグループ

## ケース

- Aさん 61歳の男性、  
「昨年、40年間勤めた会社を退職。これまで会社の  
実施する健診を受けていたが、今年、健診も受け  
ていない。どのような保健サービスが受けられるか  
教えてほしい」と保健所に来所。

#質問1

あなたが保健所医師ならば、どのように説明しますか。

## ポイント

- 老人保健事業について正しく説明ができる
- 保健所や市町村が行っているその他の保健事業について説明できる
- 相談者のデマンドの把握

## 健診結果

問診 タバコ:30本/日 飲酒1合/日  
家族歴:父・叔父 糖尿病 母 高脂血症  
身長 168cm 体重 80kg  
検尿 蛋白(-) 糖(-)  
血圧 144/86mmHg  
T-Chol 234 中性脂肪 180 HDL 54  
空腹時血糖 110 HbA1c 5.6  
心電図 異常なし

#質問2 Aさんの健診の結果から、指導するべき項目を挙げなさい

## ポイント

- 健診項目を理解し、異常値を指摘できる
- BMIの計算と判定
- 必要な保健指導の項目

## 健康教育

- 事後指導で肥満と高脂血症についての指摘を受けたAさんは、シエイプアップ教室に参加する事になりました。

#質問3

あなたは、このシエイプアップ教室で健康教育をすることになりました。どのような内容の話をしますか。

## ポイント

- 肥満と生活習慣病の関係の説明  
(動脈硬化症、高血圧症、糖尿病のリスクの説明)
- 栄養指導
- 運動指導

## 禁煙支援

- シエイプアップ教室に参加したAさんは、タバコをやめたいと相談してきました。

#質問4

保健所医師であるあなたは、どのように禁煙を支援しますか

## ポイント

- 褒める(共感的態度)
- 禁煙のメリットを説明できる
- 禁煙方法を具体的に提示できる
- 禁煙外来、個別教育を紹介できる

# 別紙調査票

## ○あなたの基本的な属性等についてお尋ねします

以下の項目について、あてはまるものを○で囲む、あるいは（ ）内にご回答ください。

問1 あなたが現在勤務している病院の種類はどれですか。

1. 大学附属病院 (1. 国立、2. 公立、3. 私立)
2. 研修指定病院・一般病院 (1. 国立、2. 公立、3. 私立、4. 公的)
3. 研修指定病院・精神病院 (1. 国立、2. 公立、3. 私立、4. 公的)
4. 研修指定病院群主病院 (1. 国立、2. 公立、3. 私立、4. 公的)
5. 研修指定病院群従病院 (1. 国立、2. 公立、3. 私立、4. 公的)

問2 あなたの研修プログラムを管理している病院はどれですか。

1. 大学附属病院 (1. 国立、2. 公立、3. 私立)
2. 研修指定病院・一般病院 (1. 国立、2. 公立、3. 私立、4. 公的)
3. 研修指定病院・精神病院 (1. 国立、2. 公立、3. 私立、4. 公的)
4. 研修指定病院群主病院 (1. 国立、2. 公立、3. 私立、4. 公的)
5. 特になし

問3 2年間の臨床研修のうち、それぞれの研修期間を教えてください。

1. 大学附属病院 ( ) ヶ月
2. 研修指定病院(群) ( ) ヶ月
3. 上記以外の病院 ( ) ヶ月

問4 あなたの研修の種類はどれですか。

1. ストレート方式(単一の診療科のみを研修するもの)
2. ローテート方式(内科系及び外科系の各々1診療科、あるいは、内科系又は外科系の1診療科かつ救急診療部門を2年間の研修期間中に研修するもの。1診療科の研修期間は、それぞれ原則として2か月以上)
3. 総合診療方式(内科系及び外科系の各々1診療科、小児科、救急診療部門を2年間の研修期間中に研修するもの。1診療科の研修期間は、それぞれ原則として2か月以上)
4. その他 ( )

問5 2年間の研修期間で経験した診療科・施設すべてに○をつけ、( )内に期間をお答えください。

- |          |        |         |        |          |        |
|----------|--------|---------|--------|----------|--------|
| 1. 総合診療科 | ( ) ヶ月 | 2. 内科   | ( ) ヶ月 | 3. 外科    | ( ) ヶ月 |
| 4. 小児科   | ( ) ヶ月 | 5. 産婦人科 | ( ) ヶ月 | 6. 精神科   | ( ) ヶ月 |
| 7. 泌尿器科  | ( ) ヶ月 | 8. 整形外科 | ( ) ヶ月 | 9. 脳神経外科 | ( ) ヶ月 |



問 12 臨床研修終了後に所属する特定の専門科（医局）を決めていますか。

1. 決めていない
2. 決めている → 次の囲みの中から○をひとつ付けて下さい

|           |         |           |                |          |
|-----------|---------|-----------|----------------|----------|
| 1. 総合診療科  | 2. 内科系  | 3. 外科     | 4. 小児科         | 5. 産婦人科  |
| 6. 精神科    | 7. 泌尿器科 | 8. 整形外科   | 9. 脳神経外科       | 10. 皮膚科  |
| 11. 耳鼻科   | 12. 眼科  | 13. 形成外科  | 14. 麻酔科        | 15. 放射線科 |
| 16. 救命救急  | 17. 病理  | 18. 緩和ケア科 | 19. リハビリテーション科 |          |
| 20. 医療行政職 | 21. 基礎系 | 22. その他（  |                | ）        |

問 13 卒後臨床研修終了を控え、今後の予定はどれですか。

1. 現在研修をしている研修病院で引き続き勤務する。 →問 14 にお答えください
2. 他の病院（大学附属病院を除く）に勤務する。 →問 14 にお答えください
3. 現在所属している大学の医局（または教室）に勤務する、またはその大学からの派遣先の病院に勤務する。 →問 15 にお答えください
4. 出身でない大学の医局（または教室）に勤務する、またはその大学からの派遣先の病院に勤務する。（現在は医局に所属していない） →問 15 にお答えください
5. 出身大学の医局（または教室）に勤務する、またはその大学からの派遣先の病院に勤務する。（現在は医局に所属していない） →問 15 にお答えください
6. 臨床系大学院に進学する
7. 基礎・社会医学研究者（大学院生を含む）になる
8. 開業する（開業医を引き継ぐ）
9. 医療行政等の仕事につく
10. まだ決めていない
11. その他（

問 14 問 13 で 1、2 と答えた方にお尋ねします。身分はどれになる予定ですか。

1. 定員内正規職員
2. 期限付き職員（「専修医」「後期研修医」等）
3. わからない

問 15 問 13 で 3、4、5 と答えた方にお尋ねします。身分はどれになる予定ですか。

1. 大学の定員内正規職員
2. 大学の期限付き職員
3. 派遣先病院の職員
4. わからない



## ○基本的な臨床知識、技術、態度についてお尋ねします

以下のA、B、C、Dに従い、あてはまる記号を○で囲んでください。

- A. 確実にできる、自信がある                      B. だいたいできる、たぶんできる  
C. あまり自信がない、ひとりでは不安である    D. できない

|    |                                       |   |   |   |   |
|----|---------------------------------------|---|---|---|---|
| 1  | 患者の解釈モデルを聞きだすことができる                   | A | B | C | D |
| 2  | 患者の病歴を系統的に聴取できる                       | A | B | C | D |
| 3  | 患者と非言語的コミュニケーションができる                  | A | B | C | D |
| 4  | バイタルサインを取ることができる                      | A | B | C | D |
| 5  | 皮膚の所見を記述できる                           | A | B | C | D |
| 6  | 眼底所見により、動脈硬化の有無を判定できる                 | A | B | C | D |
| 7  | 鼓膜を観察し、異常の有無を判定できる                    | A | B | C | D |
| 8  | 甲状腺の触診ができる                            | A | B | C | D |
| 9  | 心尖拍動を触知できる                            | A | B | C | D |
| 10 | 心雑音を聴取し、記載できる                         | A | B | C | D |
| 11 | ラ音を聴取し、記載できる                          | A | B | C | D |
| 12 | 筋性防御の有無を判定できる                         | A | B | C | D |
| 13 | 直腸診で前立腺の異常を判断できる                      | A | B | C | D |
| 14 | 妊娠の初期兆候を把握できる                         | A | B | C | D |
| 15 | 双手診により女性附属器の腫脹を触知できる                  | A | B | C | D |
| 16 | 関節可動域を検査できる                           | A | B | C | D |
| 17 | 髄膜刺激所見をとることができる                       | A | B | C | D |
| 18 | 小児の精神運動発達の異常を判断できる                    | A | B | C | D |
| 19 | うつ病の診断基準を述べるることができる                   | A | B | C | D |
| 20 | 骨折、脱臼、捻挫の鑑別診断ができる                     | A | B | C | D |
| 21 | 尿沈査の鏡検で、赤血球、白血球、円柱を区別できる              | A | B | C | D |
| 22 | 便の潜血反応を実施し、結果を解釈することができる              | A | B | C | D |
| 23 | 血液ガス分析の適応が判断でき、結果の解釈ができる              | A | B | C | D |
| 24 | 血算・白血球分画検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる          | A | B | C | D |
| 25 | 血液生化学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる            | A | B | C | D |
| 26 | 血液凝固機構に関する検査を指示し、結果を判定できる             | A | B | C | D |
| 27 | 簡易検査（血糖、電解質、尿素窒素など）の適応が判断でき、結果の解釈ができる | A | B | C | D |

|    |                                      |   |   |   |   |
|----|--------------------------------------|---|---|---|---|
| 28 | 血液免疫血清学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる         | A | B | C | D |
| 29 | 内分泌学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる            | A | B | C | D |
| 30 | グラム染色を行い、結果の解釈ができる                   | A | B | C | D |
| 31 | 髄液検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる               | A | B | C | D |
| 32 | 心電図検査を自ら実施し、不整脈の鑑別診断ができる             | A | B | C | D |
| 33 | 肺機能検査で閉塞性換気障害の判定ができる                 | A | B | C | D |
| 34 | 超音波検査を自ら実施し、胆管拡張の判定ができる              | A | B | C | D |
| 35 | 胸部単純 X 線でシルエットサインを判定できる              | A | B | C | D |
| 36 | 腹部単純 X 線でイレウスを判定できる                  | A | B | C | D |
| 37 | 胸部 CT で肺癌による所見を見出すことができる             | A | B | C | D |
| 38 | 頭部 MRI 検査の適応が判断でき、脳梗塞を判定できる          | A | B | C | D |
| 39 | 手術の手洗いが適切にできる                        | A | B | C | D |
| 40 | 静脈血採血が正しくできる                         | A | B | C | D |
| 41 | 動脈血採血が正しくできる                         | A | B | C | D |
| 42 | 血液型クロスマッチを行い、結果の判定ができる               | A | B | C | D |
| 43 | 輸液の種類と適応を挙げ、輸液の量を決定できる               | A | B | C | D |
| 44 | 腰椎穿刺を実施できる                           | A | B | C | D |
| 45 | 導尿法を実施できる                            | A | B | C | D |
| 46 | 抗菌薬の作用・副作用を理解し、処方できる                 | A | B | C | D |
| 47 | 局所浸潤麻酔とその副作用に対する処置が行える               | A | B | C | D |
| 48 | 傷病の基本的処置として、デブリードマンができる              | A | B | C | D |
| 49 | 皮膚縫合法を実施できる                          | A | B | C | D |
| 50 | 術後起こりうる合併症及び異常に対して基本的な対処ができる         | A | B | C | D |
| 51 | 術前患者の不安に対し、心理的配慮をした処置ができる            | A | B | C | D |
| 52 | 心マッサージができる                           | A | B | C | D |
| 53 | 気管挿管ができる                             | A | B | C | D |
| 54 | レスピレーターを装着し、調節できる                    | A | B | C | D |
| 55 | 電氣的除細動の適応を挙げ、実施できる                   | A | B | C | D |
| 56 | 救急患者の重傷度および緊急度を判断できる                 | A | B | C | D |
| 57 | ショックの診断と治療ができる                       | A | B | C | D |
| 58 | 末期患者の家族に病気を説明し、家族の心理的不安を受け止めることができる  | A | B | C | D |
| 59 | 在宅医療を希望する末期患者のために、環境整備を指導できる         | A | B | C | D |
| 60 | 緩和ケア (WHO 方式がん疼痛治療法を含む) のチーム医療に参加できる | A | B | C | D |

|    |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|
| 61 | 患者の身体的側面だけでなく、心理社会的側面に配慮した治療ができる                            | A | B | C | D |
| 62 | 医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決法を指導できる                       | A | B | C | D |
| 63 | インフォームドコンセントをとることが実施できる                                     | A | B | C | D |
| 64 | 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる                              | A | B | C | D |
| 65 | 糖尿病患者への健康教育（健康相談および指導）ができる                                  | A | B | C | D |
| 66 | 日常よく行う処置、検査等の保険点数を知っている                                     | A | B | C | D |
| 67 | ソーシャルワーカーの役割を理解し、協同して患者ケアを行える                               | A | B | C | D |
| 68 | 禁煙指導ができる  | A | B | C | D |
| 69 | 患者の知識や関心のレベルに応じた健康教育ができる                                    | A | B | C | D |
| 70 | 在宅医療の適応の判断ができる  | A | B | C | D |
| 71 | 地域の医療資源を活用し、入院患者の退院後も継続性のある医療を提供できるよう調整することができる             | A | B | C | D |
| 72 | 社会福祉施設等の役割について理解し、連携をとることができる                               | A | B | C | D |
| 73 | 診療上湧き上がってきた疑問点について、Medline で文献検索ができる                        | A | B | C | D |
| 74 | カンファレンス等で簡潔に受持患者のプレゼンテーションできる                               | A | B | C | D |
| 75 | 診療録（退院時サマリーを含む）を POS (Problem Oriented System) に従って記載し管理できる | A | B | C | D |
| 76 | 研究デザインを理解して、論文を読むことができる                                     | A | B | C | D |
| 77 | 学会で症例報告ができる   | A | B | C | D |
| 78 | データの種類に応じて適切な統計学的解析ができる                                     | A | B | C | D |
| 79 | 医療上の安全確認の基本的な考え方を理解し、実施できる                                  | A | B | C | D |
| 80 | 医療事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる                         | A | B | C | D |
| 81 | 院内感染対策 (Standard Precautions を含む) の基本を理解し、実施できる             | A | B | C | D |
| 82 | 高齢者の聴力・視力・認知面での障害の有無に配慮した、病歴聴取を行うことができる                     | A | B | C | D |
| 83 | 高齢者の症状が非特異的、非典型的であることを理解して、身体所見をとることができる                    | A | B | C | D |
| 84 | 高齢者の身体的、精神的、社会的活動性をできるだけ良好に維持するような治療法を呈示することができる            | A | B | C | D |
| 85 | 小児の精神運動発達の異常を判断できる  | A | B | C | D |

|    |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|
| 86 | 小児の採血、点滴ができる                                | A | B | C | D |
| 87 | 患児の身体的苦痛のみならず、精神的ケアにも配慮できる                  | A | B | C | D |
| 88 | 患児の年齢や理解度に応じた説明ができる                         | A | B | C | D |
| 89 | 代表的な精神科疾患について、診断および治療ができる                   | A | B | C | D |
| 90 | 精神科領域の薬物治療に伴うことの多い障害について理解し、適切な検査・処置ができる    | A | B | C | D |
| 91 | 精神科コメディカルスタッフ（PSW等）の業務を理解し、連携してケアを行うことができる  | A | B | C | D |
| 92 | 地域の精神保健福祉に関する支援体制状況に関する知識を持ち、適切な連携をとることができる | A | B | C | D |
| 93 | 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。                    | A | B | C | D |
| 94 | 患者の基本的権利について説明できる。                          | A | B | C | D |
| 94 | 自己決定できない患者での代理決定について判断できる                   | A | B | C | D |
| 95 | 診療計画（診断、治療、患者・家族への説明を含む）を作成できる。             | A | B | C | D |
| 96 | 診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる。                 | A | B | C | D |

## ○あなたの経験数についてお尋ねします

以下の項目について、2年の研修期間中、入院患者あるいは外来患者について、あなたの経験した数をお尋ねします。あてはまるものを○で囲んでください。

## 症状・病態

|    |                |    |      |       |      |
|----|----------------|----|------|-------|------|
| 1  | 不眠             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 2  | 浮腫             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 3  | リンパ節腫脹         | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 4  | 発疹             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 5  | 発熱             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 6  | 頭痛             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 7  | めまい            | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 8  | 視力障害、視野狭窄      | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 9  | 結膜の充血          | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 10 | 胸痛             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 11 | 動悸             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 12 | 呼吸困難           | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 13 | 咳・痰            | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 14 | 嘔気・嘔吐          | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 15 | 腹痛             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 16 | 便通異常(下痢、便秘)    | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 17 | 腰痛             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 18 | 四肢のしびれ         | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 19 | 血尿             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 20 | 排尿障害(尿失禁・排尿困難) | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 21 | 不安・抑うつ         | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 22 | 心肺停止           | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 23 | ショック           | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 24 | 意識障害           | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 25 | 脳血管障害          | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 26 | 急性心不全          | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 27 | 急性冠症候群         | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 28 | 急性腹症           | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 29 | 急性消化管出血        | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |

|    |       |    |      |       |      |
|----|-------|----|------|-------|------|
| 30 | 外傷    | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 31 | 急性中毒  | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 32 | 誤飲、誤嚥 | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 33 | 熱傷    | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 34 | 自殺企図  | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |

疾患（複数の疾患を含む項目は、そのひとつでも経験すれば1例と数え、合計数をご回答ください）

|    |  |    |      |       |      |
|----|--|----|------|-------|------|
| 35 | 貧血（鉄欠乏性貧血、二次性貧血）                             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 36 | 脳・脊髄血管障害（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）                    | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 37 | 湿疹・皮膚炎群（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎）                      | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 38 | 蕁麻疹  | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 39 | 皮膚感染症  | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 40 | 骨折   | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 41 | 関節の脱臼、亜脱臼、捻挫、靭帯損傷                            | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 42 | 骨粗鬆症   | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 43 | 脊柱障害（腰椎椎間板ヘルニア）                              | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 44 | 心不全  | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 45 | 狭心症、心筋梗塞                                     | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 46 | 不整脈（主要な頻脈性、徐脈性不整脈）                           | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 47 | 動脈疾患（動脈硬化症、大動脈瘤）                             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 48 | 高血圧症（本態性、二次性高血圧症）                            | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 49 | 呼吸不全   | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 50 | 呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）                       | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 51 | 閉塞性・拘束性肺疾患（気管支喘息、気管支拡張症）                     | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 52 | 食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎）          | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 53 | 小腸・大腸疾患（イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔漏）                    | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 54 | 肝疾患（ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害） | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 55 | 横隔膜・腹壁・腹膜（腹膜炎、急性腹症、ヘルニア）                     | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 56 | 腎不全（急性・慢性腎不全、透析）                             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 57 | 泌尿器科的腎・尿路疾患（尿路結石、尿路感染症）                      | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 58 | 妊娠分娩（正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥）            | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 59 | 男性生殖器疾患（前立腺疾患、勃起障害、精巣腫瘍）                     | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |

|    |  |    |      |       |      |
|----|--|----|------|-------|------|
| 60 | 糖代謝異常(糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖)                 | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 61 | 高脂血症                                   | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 62 | 屈折異常(近視、遠視、乱視)                         | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 63 | 角結膜炎                                   | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 64 | 白内障                                    | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 65 | 緑内障                                    | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 66 | 中耳炎                                    | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 67 | アレルギー性鼻炎                               | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 68 | 痴呆(血管性痴呆を含む)                           | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 69 | うつ病                                    | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 70 | 統合失調症(精神分裂病)                           | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 71 | 身体表現性障害、ストレス関連障害                       | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 72 | ウイルス感染症(インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎) | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 73 | 細菌感染症(ブドウ球菌、MRSA、A群連鎖球菌、クラミジア)         | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 74 | 結核                                     | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 75 | 慢性関節リウマチ                               | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 76 | アレルギー疾患                                | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 77 | 熱傷                                     | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 78 | 小児けいれん性疾患                              | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 79 | 小児ウイルス感染症(麻疹、流行性耳下腺炎、水痘、突発性発疹、インフルエンザ) | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 80 | 小児喘息                                   | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 81 | 高齢者の栄養摂取障害                             | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |
| 82 | 老年症候群(誤嚥、転倒、失禁、褥瘡)                     | 0例 | 1～5例 | 6～10例 | 11例～ |

## 医療記録

|    |               |    |      |       |      |
|----|---------------|----|------|-------|------|
| 83 | 死亡診断書         | 0通 | 1～5通 | 6～10通 | 11通～ |
| 84 | 死体検案書         | 0通 | 1・2通 | 3・4通  | 5通～  |
| 85 | CPCレポート(剖検報告) | 0例 | 1・2例 | 3・4例  | 5例～  |
| 86 | 紹介状           | 0通 | 1～5通 | 6～10通 | 11通～ |

質問は以上で終わりです。

ご協力、誠にありがとうございました

## 病院調査票

この調査票は、特に定めのあるものを除き 3 月 1 日現在で作成してください。

|       |    |    |          |    |     |
|-------|----|----|----------|----|-----|
| 研修責任者 | 役職 | 氏名 | 作成者      | 所属 | 氏名  |
| 病院名   |    |    | 所在地・電話番号 |    | TEL |

1. 貴院にいま現在勤務されている、卒後臨床研修 2 年目の研修医は何人ですか。( ) 人  
 貴院所属であっても、いま現在、他院へ派遣されている者は除きます。

2. 研修医個人ごとの研修記録

研修医個人ごとの研修記録はどのようにしていますか。該当する記号に○

a 研修医手帳を配布し、記載させている。  
 b 病院独自ソフトまたはシステムで個人記録を電子情報として入力させている。  
 c UMIN 大学病院医療情報ネットワークセンター提供のインターネットを利用した研修評価システム (EPOC) を使用して個人記録を電子情報として入力させている。  
 d 医療研修推進財団提供によるシステムを使用して個人記録を電子情報として入力させている。  
 e 上記以外のソフトまたはシステムで個人記録を電子情報として入力させている。

3. 研修の評価

以下の項目で、一定の形式による評価システムがあり実施されているものにつき、その記号に○を記入

| 自己評価<br>指導医評価 | 知識 | 技能 | 態度 | 病歴記載 | 退院時要約 | その他 (内容記載) | 総合評価 |
|---------------|----|----|----|------|-------|------------|------|
|               | a  | b  | c  | d    | e     | f ( )      | g    |
|               | h  | i  | j  | k    | l     | m ( )      | n    |

評価時期はどのように設定していますか。該当する記号に○

a 診療科単位で評価している。  
 b 一定期間を設定して評価している。  
 c 時期を設定せず随時評価を行っている。  
 d 最終段階の総合評価のみを行っている。  
 e その他

4. 厚生労働省承認の臨床研修指導医養成ワークショップ・研修の修了指導医数 (厚生労働省承認とは修了証書に厚生労働省医政局長印があるものを指す。)

( ) 人

5. 研修期間において以下の内容の教育・研修はいかにこなされていますか

以下の項目で独立に時間をとって実施指導・研修を行っていますか。該当する記号に○

|                   |         |          |
|-------------------|---------|----------|
| 1) 検査計画のたてかた      | a 行っている | b 行っていない |
| 2) 患者・家族の面接・教育の技法 | a 行っている | b 行っていない |
| 3) 診療録の記入         | a 行っている | b 行っていない |
| 4) 退院時要約の記入       | a 行っている | b 行っていない |
| 5) 文献検索の方法        | a 行っている | b 行っていない |
| 6) 診療点数・保険制度について  | a 行っている | b 行っていない |
| 7) 死亡診断書の記入       | a 行っている | b 行っていない |
| 8) 死体検案について       | a 行っている | b 行っていない |

# 別紙調査結果表

表1 基本的な臨床知識、技術、態度

| 対象者数                  | 2418 (100.0) | 対象者数                                  | 2418 (100.0) |
|-----------------------|--------------|---------------------------------------|--------------|
| 患者の解剖モデルを聞きだすことができる   |              | 術後起こる合併症及び異常に対して基本的な対処ができる            |              |
| 確実にできる、自信がある          | 534 (22.1)   | 確実にできる、自信がある                          | 348 (14.4)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 1688 (69.8)  | だいたいできる、たぶんできる                        | 927 (38.3)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 144 (6.0)    | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 795 (32.9)   |
| できない                  | 20 (0.8)     | できない                                  | 331 (13.7)   |
| 未回答                   | 32 (1.3)     | 未回答                                   | 17 (0.7)     |
| 患者の病歴を系統的に聴取できる       |              | 術前患者の不安に対し、心理的配慮をした処置ができる             |              |
| 確実にできる、自信がある          | 637 (26.3)   | 確実にできる、自信がある                          | 510 (21.1)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 1649 (68.2)  | だいたいできる、たぶんできる                        | 1288 (53.3)  |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 109 (4.5)    | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 473 (19.6)   |
| できない                  | 7 (0.3)      | できない                                  | 132 (5.5)    |
| 未回答                   | 16 (0.7)     | 未回答                                   | 15 (0.6)     |
| 患者と非言語的コミュニケーションができる  |              | 心マッサージができる                            |              |
| 確実にできる、自信がある          | 547 (22.6)   | 確実にできる、自信がある                          | 1227 (50.7)  |
| だいたいできる、たぶんできる        | 1578 (65.3)  | だいたいできる、たぶんできる                        | 935 (38.7)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 231 (9.6)    | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 196 (8.1)    |
| できない                  | 33 (1.4)     | できない                                  | 46 (1.9)     |
| 未回答                   | 29 (1.2)     | 未回答                                   | 14 (0.6)     |
| バイタルサインを取ることができる      |              | 気管挿管ができる                              |              |
| 確実にできる、自信がある          | 1299 (53.7)  | 確実にできる、自信がある                          | 897 (37.1)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 1029 (42.6)  | だいたいできる、たぶんできる                        | 973 (40.2)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 71 (2.9)     | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 561 (23.2)   |
| できない                  | 3 (0.1)      | できない                                  | 158 (6.5)    |
| 未回答                   | 16 (0.7)     | 未回答                                   | 14 (0.6)     |
| 皮膚の所見を記述できる           |              | レスピレーターを装着し、調節できる                     |              |
| 確実にできる、自信がある          | 203 (8.4)    | 確実にできる、自信がある                          | 617 (25.5)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 1137 (47.0)  | だいたいできる、たぶんできる                        | 939 (38.8)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 941 (38.9)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 561 (23.2)   |
| できない                  | 115 (4.8)    | できない                                  | 274 (11.3)   |
| 未回答                   | 22 (0.9)     | 未回答                                   | 12 (0.5)     |
| 眼底所見により、動脈硬化の有無を判定できる |              | 電氣的除細動の適応を挙げ、実施できる                    |              |
| 確実にできる、自信がある          | 97 (4.0)     | 確実にできる、自信がある                          | 533 (22.0)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 180 (7.4)    | だいたいできる、たぶんできる                        | 948 (39.2)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 670 (27.7)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 681 (28.2)   |
| できない                  | 1456 (60.2)  | できない                                  | 240 (9.9)    |
| 未回答                   | 15 (0.6)     | 未回答                                   | 16 (0.7)     |
| 鼓膜を観察し、異常の有無を判定できる    |              | 救急患者の重傷度および緊急度を判断できる                  |              |
| 確実にできる、自信がある          | 114 (4.7)    | 確実にできる、自信がある                          | 335 (13.9)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 435 (18.0)   | だいたいできる、たぶんできる                        | 1153 (47.7)  |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 844 (34.9)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 756 (31.3)   |
| できない                  | 1010 (41.8)  | できない                                  | 158 (6.5)    |
| 未回答                   | 15 (0.6)     | 未回答                                   | 16 (0.7)     |
| 甲状腺の触診ができる            |              | ショックの診断と治療ができる                        |              |
| 確実にできる、自信がある          | 251 (10.4)   | 確実にできる、自信がある                          | 315 (13.0)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 1173 (48.5)  | だいたいできる、たぶんできる                        | 1063 (44.0)  |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 840 (34.7)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 581 (23.6)   |
| できない                  | 139 (5.7)    | できない                                  | 158 (6.5)    |
| 未回答                   | 15 (0.6)     | 未回答                                   | 21 (0.9)     |
| 心尖拍動を触知できる            |              | 末期患者の家族に病気を説明し、家族の心理的不安を受け止めることができる   |              |
| 確実にできる、自信がある          | 664 (27.5)   | 確実にできる、自信がある                          | 345 (14.3)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 1207 (49.9)  | だいたいできる、たぶんできる                        | 1131 (46.8)  |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 441 (18.2)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 367 (15.2)   |
| できない                  | 89 (3.7)     | できない                                  | 141 (5.8)    |
| 未回答                   | 17 (0.7)     | 未回答                                   | 14 (0.6)     |
| 心雑音を聴取し、記載できる         |              | 在宅医療を希望する末期患者のために、環境整備を指導できる          |              |
| 確実にできる、自信がある          | 359 (14.8)   | 確実にできる、自信がある                          | 137 (5.7)    |
| だいたいできる、たぶんできる        | 1196 (49.5)  | だいたいできる、たぶんできる                        | 622 (25.7)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 713 (29.5)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 1094 (45.2)  |
| できない                  | 139 (5.7)    | できない                                  | 552 (22.8)   |
| 未回答                   | 11 (0.5)     | 未回答                                   | 13 (0.5)     |
| ラ音を聴取し、記載できる          |              | 緩和ケア(WHO方式がん疼痛治療法を含む)のチーム医療に参加できる     |              |
| 確実にできる、自信がある          | 461 (19.1)   | 確実にできる、自信がある                          | 147 (6.1)    |
| だいたいできる、たぶんできる        | 1389 (57.4)  | だいたいできる、たぶんできる                        | 612 (25.3)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 484 (20.0)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 1033 (42.7)  |
| できない                  | 71 (2.9)     | できない                                  | 613 (25.4)   |
| 未回答                   | 13 (0.5)     | 未回答                                   | 13 (0.5)     |
| 筋性防御の有無を判定できる         |              | 患者の身体的側面だけでなく、心理社会的側面に配慮した治療ができる      |              |
| 確実にできる、自信がある          | 686 (28.4)   | 確実にできる、自信がある                          | 333 (13.8)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 1312 (54.3)  | だいたいできる、たぶんできる                        | 1356 (56.1)  |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 349 (14.4)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 656 (27.1)   |
| できない                  | 57 (2.4)     | できない                                  | 53 (2.2)     |
| 未回答                   | 14 (0.6)     | 未回答                                   | 20 (0.8)     |
| 直腸診で前立腺の異常を判断できる      |              | 医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決法を指導できる |              |
| 確実にできる、自信がある          | 184 (7.6)    | 確実にできる、自信がある                          | 192 (7.9)    |
| だいたいできる、たぶんできる        | 579 (23.9)   | だいたいできる、たぶんできる                        | 923 (38.2)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 879 (36.4)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 1027 (42.5)  |
| できない                  | 764 (31.6)   | できない                                  | 253 (10.5)   |
| 未回答                   | 12 (0.5)     | 未回答                                   | 23 (1.0)     |
| 妊娠の初期兆候を把握できる         |              | インフォームドコンセントをとることが実施できる               |              |
| 確実にできる、自信がある          | 122 (5.0)    | 確実にできる、自信がある                          | 651 (26.9)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 359 (14.8)   | だいたいできる、たぶんできる                        | 1425 (59.0)  |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 959 (39.7)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 301 (12.4)   |
| できない                  | 965 (39.9)   | できない                                  | 22 (0.9)     |
| 未回答                   | 13 (0.5)     | 未回答                                   | 19 (0.8)     |
| 双手診により女性付属器の腫脹を触知できる  |              | 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる        |              |
| 確実にできる、自信がある          | 77 (3.2)     | 確実にできる、自信がある                          | 518 (21.4)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 189 (7.8)    | だいたいできる、たぶんできる                        | 1564 (64.7)  |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 528 (21.8)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 296 (12.2)   |
| できない                  | 1611 (66.6)  | できない                                  | 22 (0.9)     |
| 未回答                   | 13 (0.5)     | 未回答                                   | 18 (0.7)     |
| 関節可動域を検査できる           |              | 糖尿病患者への健康教育(健康相談および指導)ができる            |              |
| 確実にできる、自信がある          | 233 (9.6)    | 確実にできる、自信がある                          | 233 (9.6)    |
| だいたいできる、たぶんできる        | 577 (23.9)   | だいたいできる、たぶんできる                        | 929 (38.4)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 963 (40.7)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 936 (38.7)   |
| できない                  | 611 (25.3)   | できない                                  | 301 (12.4)   |
| 未回答                   | 14 (0.6)     | 未回答                                   | 19 (0.8)     |
| 膵臓刺激所見をとることができる       |              | 日常よく行う処置、検査等の保険点数を知っている               |              |
| 確実にできる、自信がある          | 590 (24.4)   | 確実にできる、自信がある                          | 66 (2.7)     |
| だいたいできる、たぶんできる        | 1224 (50.6)  | だいたいできる、たぶんできる                        | 366 (15.1)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 453 (18.7)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 1010 (41.8)  |
| できない                  | 139 (5.7)    | できない                                  | 959 (39.7)   |
| 未回答                   | 12 (0.5)     | 未回答                                   | 17 (0.7)     |
| 小児の精神運動発達を判断できる       |              | ソーシャルワーカーの役割を理解し、協同して患者ケアを行える         |              |
| 確実にできる、自信がある          | 82 (3.4)     | 確実にできる、自信がある                          | 219 (9.1)    |
| だいたいできる、たぶんできる        | 408 (16.9)   | だいたいできる、たぶんできる                        | 914 (37.8)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 968 (40.0)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 936 (38.7)   |
| できない                  | 948 (39.2)   | できない                                  | 327 (13.5)   |
| 未回答                   | 12 (0.5)     | 未回答                                   | 22 (0.9)     |
| うつ病の診断基準を述べることができる    |              | 禁煙指導ができる                              |              |
| 確実にできる、自信がある          | 161 (6.7)    | 確実にできる、自信がある                          | 272 (11.2)   |
| だいたいできる、たぶんできる        | 326 (13.5)   | だいたいできる、たぶんできる                        | 982 (40.6)   |
| あまり自信がない、ひとりでは不安である   | 669 (27.7)   | あまり自信がない、ひとりでは不安である                   | 823 (34.0)   |
| できない                  | 1247 (51.6)  | できない                                  | 321 (13.3)   |
| 未回答                   | 15 (0.6)     | 未回答                                   | 20 (0.8)     |